

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	湯沢市			代表者名	市長 佐藤 一夫
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	ふるさと未来創造部まちづくり協働課	連絡先電話番号	0183-56-8386
担当者役職	主事	担当者氏名	阿部 花音	連絡先E-mail	
住所	012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	官民連携推進事業（シェアリングエコノミー推進）		
概要	シェアリングエコノミーの基礎知識を学び、活用事例を通じて地域課題の解決や財政負担の軽減、事務効率化への可能性を探る。講義を通じて、参加者が自らの業務に応用できる視点を養う。				
支援を求める分野	シェアリングエコノミー				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年2月20日	フォローアップ(オンライン)	11時00分	12時00分	
			活動時間（分）	60	
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中村 涼子
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	実際に研修に参加した職員を対象にフォローアップを実施していただいた。当該フォローアップでは、研修内容の振り返りを行うとともに、各自の業務にどのように活用できるかについて意見交換を行った。また、具体的な手法や参考となる企業・サービス等の紹介があった。
アドバイザーへの要望事項	特段ございません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	2人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	2	0	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	現況：価値観の多様化に伴い、行政には民間企業との連携が求められている。一方で民間企業には、公共サービスの一端を担い、共創を寄与することが期待されている。 課題：適切な企業とのマッチング方法や連携の進め方が整理されておらず、官民連携が十分に機能していない。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	シェアリングエコノミーを、地域や組織の課題解決に有効な手段として位置付けること。 また、市民に対しサービス提供の効率化やシェアを通じて地域コミュニティの活性化を見込む。
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・高齢者の買い物支援における移動手段確保の課題について、具体的な視点から助言がなされた。 ・音楽イベント運営時の駐車場不足に関する課題について、整理と対応の方向性が示された。 ・今後の職員研修の企画について、今回の研修内容を踏まえた検討の視点が提示された。 ・変革期における若手職員の役割やキャリア形成について、講師の経験を踏まえた助言がなされた。 ・来年度の研修内容について提案

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	福祉関連 高齢者の買い物支援における移動手段の確保について、「相乗り」の考え方を発展させ、行政が新たに車両を保有するのではなく、既存の民間シェアリングサービスを活用する方向性が示された。あわせて、佐賀県多久市のオンデマンド交通サービス チョイスコ や、保険適用の送迎・預かりサービス アズママ が具体例として紹介され、今後の調査・活用に向けた整理がなされた。 生涯学習関連 音楽イベント開催時の駐車場不足について、空き地や個人敷地を活用した駐車場シェアが有効であることが確認された。既に市内で導入されている 軒先パーキング を活用し、イベントチラシへの予約用QRコード掲載や市民への登録促進を行うことで、来場者の利便性向上とサービスの周知につなげる提案がなされた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑤組織業務改善ができた 音楽イベントのチラシに関して、実際に駐車場シェアのQRコード掲載を検討する等、受講者自身が実務に活かせる視点を養えた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	具体的な事業化や制度設計、効果測定(KPIに基づく評価)については、今後の検討課題として持ち越しとなった。 今後は、本支援で得た知見を踏まえ、庁内において継続的な検討や情報共有を行うとともに、必要に応じてフォローアップの機会を設け、実際の施策への反映や事業化に向けた検討を進めていく。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修参加者へのフォローアップのため。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある 予算確保から進めるのではなく、得た視点や学んだシェアリングエコノミーの仕組みや事例を活かし、現在連携しているシェアリングエコノミーに関する企業を活用していく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアリングエコノミーの基本的な仕組みや事例を学び、理解を深める。 ・地域課題の解決や行政の財政負担・事務負担の軽減にどのように活用できるかを考える。 ・受講者自身が実務に活かせる視点を得る。

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

